

RINGLOC BI-POLAR

ARTICULATING HIP SYSTEM



BIOMET

RINGLOC BI-POLAR

バイポーラ人工骨頭カップ

RingLocテクノロジーによるメタルシェルとライナーの高い固定性

Biometが臼蓋コンポーネントに用いているRingLocデザインはカップとライナーの適合性を確実に維持するとともに、レバーアウトやプッシュアウトの応力に対して固定性を発揮します。

ロッキングメカニズムによるフェモラルヘッドの脱転抵抗

ロッキングメカニズムは、従来では得ることのできなかったレバーアウト抵抗力を発生させるために厳密な精度を追求して設計されています。そのためヘッドを強固に保持し、高い脱転抵抗を生み出します。

エキセントリック（偏心）デザインは外反位を維持し摩耗の発生を軽減します。

BiometのRingLocバイポーラカップはエキセントリック（偏心）デザインを採用しており、荷重応力に対しカップの中心軸が荷重アライメントに一致するように機能します。この機能により、カップが内反しても外反位にもどり、脱臼の危険が減少するとともに、臼蓋軟骨に対する応力分散を向上させます。

簡単な挿入・抜去操作

BiometのRingLocバイポーラの組み立ては、ポリエチレンライナーを徒手的にフェモラルヘッドに押し込んだ後に、メタルシェルを上から被せ、組み立てます。抜去の必要がある場合にはリムーバルツールをポリエチレンライナーの外周に押し込み、メタルシェルを取り外すことで抜去が可能です。

ArComポリエチレン

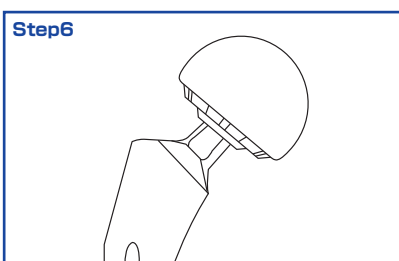
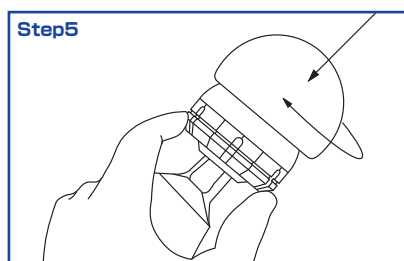
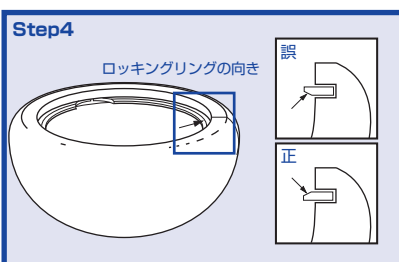
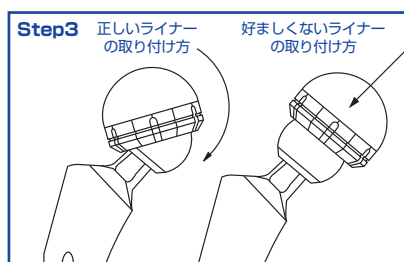
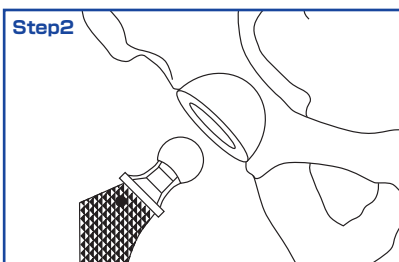
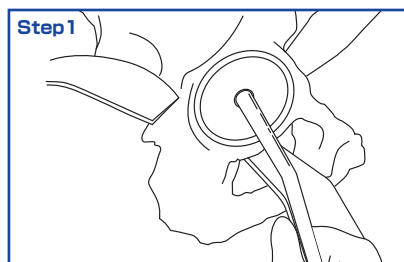
ポリエチレンライナーは優れた臨床成績を持つArComポリエチレンを使用しています。

特許を取得しているアイソスタティックモールディング製法で製造されたArComポリエチレンは、高いレベルでのコンソリデーションを可能とし、ポリエチレンの機械強度を損なうことなく、高いクロスリンクレベルを実現することが出来ます。



Surgical Technique

●組立操作 <in Vivo Assembly>



組立

Step 1 : 寛骨臼サイズの測定

トライアルハンドルにバイポーラトライアルを取り付け、寛骨臼のサイズを計測します。

Step 2 : 仮整復

ブローチに適切なサイズのネックトラニオン、モジュラーヘッドトライアルを取り付け、仮整復を行います。

Step 3 : ポリエチレンライナーの組み立て
ステムのネック部分にポリエチレンライナーの片方を押し当て、テコの原理でポリエチレンライナーをヘッドに取り付けます。

Step 4 : ロッキングリングの確認

ロッキングリングがバイポーラカップのメタルシェル内側の溝に装着された状態でパッケージされていますが、メタルシェルをポリエチレンライナーに装着する前にこのロッキングリングがメタルシェル内側の溝の中に正しく収まって円周上を自由に動くか、またロッキングリングの面取り部分がメタルシェル開口部側に向いているか確認してください。

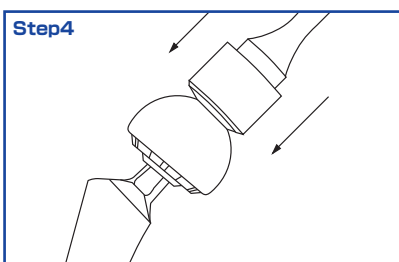
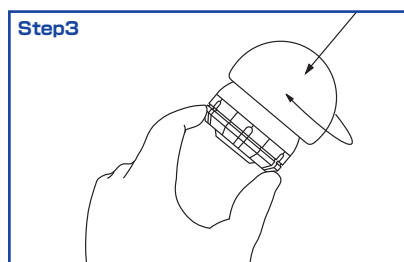
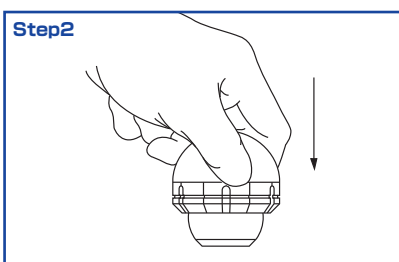
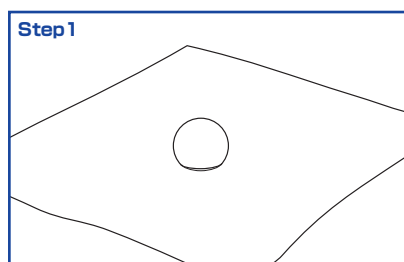
Step 5 : メタルシェルの組み立て

ポリエチレンライナーを指先で保持し、メタルシェルをツイストしながらはめ込みます。

Step 6 : メタルシェルの固定確認

ポリエチレンライナーのロッキング溝にロッキングリングが嵌まり込むことでメタルシェルの固定が完了します。

●組立操作 <Back Table Assembly>



組立

Step 1 : モジュラーヘッドの設置

適切なサイズのモジュラーヘッドを清潔野に置きます。平らで底が硬く、安定した場所が望ましいです。

Step 2 : ポリエチレンライナーの組み立て
ポリエチレンライナーをモジュラーヘッドに被せ、両手で覆います。クリック音が聞こえるまで体重を掛けながら押し込みます。

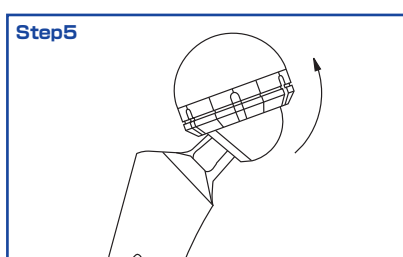
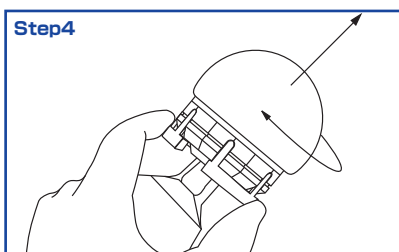
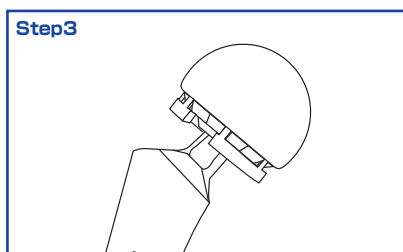
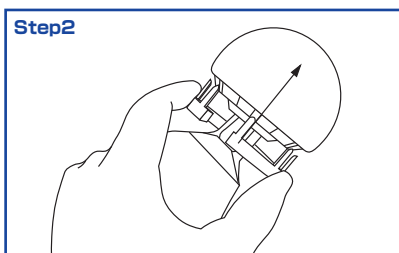
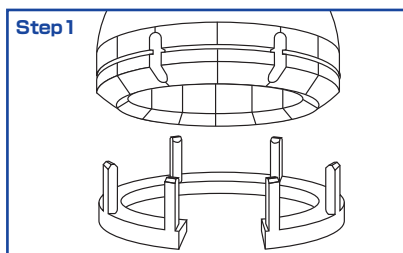
Step 3 : メタルシェルの組み立て

ポリエチレンライナーを指先で保持し、メタルシェルをツイストしながらはめ込みます。

Step 4 : フェモラルコンポーネントへの取り付け

組み立てたバイポーラカップをフェモラルコンポーネントに取り付け、フェモラルヘッドドライバーを用いて数回叩くことで、取り付けが完了します。

●抜去操作



抜 去

Step 1 : 抜去器械サイズの選択

バイポーラカップのサイズに対応した8種類の抜去用の器械が用意されています。適合するサイズのリムーバルツールを選択します。

Step 2 : 抜去器械の差込

適合するサイズのリムーバルツールをポリエチレンライナーの外周の溝穴に差し込みます。

Step 3 : 抜去器のリング設置の確認

リムーバルツールのリング部分がポリエチレンライナーの辺縁に接するまで差し込まれているか確認します。

Step 4 : メタルシェルの抜去

リムーバルツールのリング部分を指で固定し、もう片方の手でメタルシェルをツイストしながらまっすぐ引き抜きます。

Step 5 : ポリエチレンライナーの抜去

ステムのネック部分にポリエチレンライナーの片方を押し当て、テコの原理でライナーをヘッドネックコンポーネントから外します。

Ordering Information

●RingLocバイポーラコンポーネント

シェル 外径	内径 22mm	内径 28mm
38mm	*CP155478	—
39mm	*CP155479	—
40mm	*CP155480	—
41mm	CP157441	11-165206
42mm	CP157442	11-165208
43mm	CP157443	11-165210
44mm	CP157444	11-165212
45mm	CP157445	11-165214
46mm	CP157446	11-165216
47mm	CP157447	11-165218
48mm	CP157448	11-165220
49mm	CP157449	11-165222
50mm	CP157450	11-165224
51mm	CP157451	11-165226
52mm	CP157452	11-165228
53mm	—	*11-165230
54mm	—	*11-165232
55mm	—	*11-165234
58mm	—	*11-165240

販売名：バイオメット バイポーラ システム

承認番号：21600BZY00017000

*はオプションサイズです。

●モジュラーヘッド

サイズ	コバルトクロム	
	22mm	28mm
-6		163660
-5	163652	—
-3	163653	163661
STD	163651	163662
+3		163663
+6	—	163638
*+9	—	163665
*+12	—	163666

販売名：バイオメット バイメトリック/バイポーラ ヒップ システム

承認番号：21300BZY00557000

*はオプションサイズです。

BIOMET

One Surgeon. One Patient.

バイオメット・ジャパン株式会社

本 社
〒105-0011
東京都港区芝公園二丁目11番1号 住友不動産芝公園タワー15階
TEL 03-5404-5670(代) FAX 03-5404-5677

東京営業所
〒105-0011
東京都港区芝公園二丁目11番1号 住友不動産芝公園タワー16階
TEL 03-5404-5655 FAX 03-5404-5666

大阪第一営業所/大阪第二営業所
〒532-0003
大阪市淀川区宮原四丁目5番36号 セントラル新大阪ビル7階
TEL 06-6150-7020(代) FAX 06-6150-7021

仙台営業所
〒980-0011
仙台市青葉区上杉2丁目3番7号 K2小田急ビル7階
TEL 022-212-7331(代) FAX 022-212-7332

バイオメット・ジャパン株式会社 東京ロジスティクスセンター
〒140-0012

東京都品川区勝島1丁目4番3号 日通大井物流3号倉庫3階

東日本お客様窓口
TEL 03-5404-5655 FAX 03-5404-5666

西日本お客様窓口
TEL 06-6150-7020 FAX 06-6150-7021

営業拠点：札幌、北関東、吉祥寺、横浜、名古屋、岡山、福岡

<https://www.biomet.co.jp/>

All trademarks herein are the property of Biomet, Inc.
or its subsidiaries unless otherwise indicated.
©2005 Biomet Japan.